

委員会報告

3月8日の本会議において各常任委員会に付託された議案審査は、次のように決定しました。

総務常任委員会

付託された議案については慎重な審査の結果、全議案について全員一致で原案を可決した。

質問 本庁舎増改築事業は総額いくらになるのか。工期の遅れはどれくらいか。

答弁 総事業費21億円と見込んでいる。工期は少し遅れているが24年12月完成を目標に進めている。

質問 畜舎問題の進捗状況はどうなっている。

答弁 関係者と話をしており、スムーズにいくようにしたい。

質問 合併特例債は予定どおり推移しているか。

答弁 平成23年度末での借入総額は限度額の6割程度。24年・25年・26年度末も範囲内で推移していくものと思う。



▶本庁舎増設西側駐車場予定地

文教厚生常任委員会

付託された議案については慎重な審査の結果、8議案中、議案第12号以外の7議案については全員一致で、議案第12号の敬老祝金支給条例の一部を改正する条例については賛成多数で原案を可決した。

質問 75歳と90歳の敬老祝金を削り、肺炎球菌ワクチンに充てる改正だが、節目支給を削る必要があるのか。

答弁 市内でも肺炎で亡くなる方が多いので、ワクチン接種をお願いしたい。財政状況を見ながら予算を有効に使っていきたい。

質問 保育所入所者負担金について、どのような観点で見直したか。

答弁 負担金は所得税により設定している。階層にもよるが、所得税が課税になると1万円以上負担金が上がっていたのを、緩やかになるように階層を細分化した。



▲「設定こども園」こどもの森幼稚園・保育園

質問 子宮頸がんワクチンについて、平成23年度のワクチン対象者はどこまでなのか。高校2年生までの特例はないのか。

答弁 13歳が一番望ましいとの定義のもと、行っている。平成22年度に接種した方のことを考えると負担が不公平にならないよう23年度は高校1年生までとしたい。

産業建設常任委員会

付託された議案は、慎重な審査の結果、議案第32号以外の11議案については全員一致で、議案第32号については賛成多数で、原案を可決した。

質問 スマートインターチェンジ整備事業は減額されているが、必要性、効果の分析結果は3月中に判るか。

答弁 3月末までに協議会資料を仕上げるため、調査は専門的なコンサルタントに委託しており、できる。

質問 有害鳥獣等駆除対策事業で、イノシシが電気柵に慣れている。ワイヤーメッシュにする考えは。将来的に市単独でも実施する考えはないか。

答弁 23年度は経済対策で要望があった分を考えている。まずは、100%補助事業を実施して、さらに要望があれば補助事業を探したい。

質問 中心市街地活性化事業で、国に申請された交流プラザ等の資料は見せられないのは金捨てだ。小城市でも全部改築するとなっていたが、民間の土地が入っており公表できないと。地域の理解を得ているか。

答弁 交流プラザは、中心市街地活性化協議会で案として作成している。当初は、民地まで入ってなかったが、図面では入っていた。行政内部で協議中で、具体的に決まっていないため示せない。



▲イノシシ対策でのワイヤーメッシュ